

学校関係者評価報告書

東海医療科学専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人セムイ学園 東海医療科学専門学校 学校関係者評価委員会は「令和6年度 学校自己評価表」の結果に基づいて学校関係者評価を実施しましたので、下記のとおり報告します。

「学校関係者評価」の実施方法について

学校関係者評価は、文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえた評価項目に沿って実施し、学校関係者評価委員に評価していただきました。

I 令和7年度 学校関係者評価委員会 開催概要

1. 日 時

令和7年9月20日(土) 17:00～18:30

2. 会 場

リモート会議

3. 議 事

第1号議案 委員長の選任

第2号議案 令和6年度学校自己点検・評価表について

II 学校関係者評価委員、学校担当者

(1) 委員 学校関係者評価委員

学科	構成	氏名	所属
臨床工学	卒業生父兄	齋藤 友久	医療法人仁聖会 碧南クリニック
臨床工学 看護科	企業等委員 卒業生父兄	林屋 裕二	医療法人聡彩会 こどもゆめクリニック
臨床工学	企業等委員 卒業生	山田 賢太郎	医療法人愛誠会 ゆりクリニック名古屋東
理学療法	企業等委員	池野 倫弘	愛知県理学療法士会
言語聴覚	企業等委員 卒業生	富田 彰	医療法人羊蹄会 ようてい健康増進クリニック
作業療法	企業等委員 卒業生	坂上 隼大	リーベグループ株式会社
柔道整復	企業等委員 卒業生	加納 崇希	わかたリハビリデイサービス
社会福祉	企業等委員	知久 能之	社会福祉法人さつき福祉会

(2) 担当教職員一覧

氏名	所属・職名
横井 英行	東海医療科学専門学校 校長
勝見 ひろみ	東海医療科学専門学校 校長補佐、教学マネジメント部長
田中 敏彦	東海医療科学専門学校 教学部長、作業療法科 学科長
中村 新一	東海医療科学専門学校、臨床工学科 学科長 教学マネジメント部長補佐
三輪 文昭	東海医療科学専門学校 教学部長補佐
太田 晃二	学校法人セムイ学園 法人本部長補佐、総務部長

Ⅲ 学校関係者評価委員による意見、提言等

評価項目	学校関係者評価委員の意見、提言及び評価
基準1 「教育理念・目的」	<ul style="list-style-type: none"> ・3つのポリシーが刷新されたことが確認できました。ディプロマ・ポリシーの明文化により、より浸透しやすい流れが構築できたことがわかりました。理念の浸透には今後も時間と努力が必要と思いますが、この流れを継続していただきたいです。 ・今年度設置された「教育マネジメント部」についても良い方向で進んでいると聞きましたので、さらなる推進を期待します。
基準2 「学校運営」	<p>教員のスキルアップを目指したプログラムと取り入れて前向きに運営することを常に目指している。また学校を周知させるため内部、外部で色んな取り組みを実行している。学校の運営に関しても情報を共有して経営会議もやられている。</p>
基準3 「教育活動」	<ul style="list-style-type: none"> ・クレドやポリシーといった指針をしっかりと打ち出していることで、学生の入学前のイメージと入学後のイメージの溝を埋めやすくなるように思います。 ・講義においてはしっかりとしたシラバスが作成されており問題はなく、また内容においても外部第三者からの意見も取り入れているので日々変化している情勢にも対応できている。 ・専門学校として歴史もあり完成されつつある。ただ人と人とのことであるので一筋縄ではいかないし個々への対応は多様であると思うので大変だとは思いますが試行錯誤を重ねていただきたいと思います。
基準4 「学修成果・教育成果」	<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験合格率については高い水準となっており、学修成果として非常に良い成果となっていると思います。 ・卒業後の活躍など動向を把握することは難しいですが、在校生向けのセミナーや卒業生向けのセミナーの開催だけでなく、在校生と卒業生の交流の場があると良いかと思いました。 <p>とくに在学生にとって一番身近な卒後1年目、2年目の若手の先生方の実際の現場での活躍や悩みなどを聞いて卒後のビジョンを具体的にイメージすることができたり、卒業生にとっても学生と交流することで初心に戻る機会になったり、あるいは卒業生同士が交流する中で悩みを共有して意見を出し合い、モチベーションに繋げるなど多様な交流の場にできると思います。</p> <p>そういった場から学校と卒業生との繋がりを保つことも一つの方法ではないでしょうか。</p>

<p>基準5 「学生支援」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ここ数年、各学科ともに全国平均を上回る国試の合格率を達成しているにもかかわらず、令和6年度は臨工、言語、社福で入学充足率50%台の定員割れを起しており、貴校としては厳しい状況である。 <p>そんな中、貴校は学生にとって魅力ある学校作りに取り組んでいる。例えば、学科間合同での演習は、卒後現場のコメディカル、チーム医療従事に向けて大変有意義である。また、みよし市の新たな児童発達支援、放課後デイ事業は、貴校の経営面の安定化だけではなく、既存の各学科（とくに言語）にとっても実習面で新たな強みになることが期待できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一方、成績不振や低いモチベーションの学生に対する支援についても、カウンセラーを増員したり、ベスタが作業療法科で一定の成果を上げている例など、積極的に行われている。今後、ベスタが他学科での実践されることを望む。また、以下の案は、一長一短があるが、「科目ごとに成績上位者が成績下位者の指導や助言をする」など、学生どうしがお互いの得意分野を活かしながらフォローしあってゆく方法も、退学防止への一つの試みとして提案する。
<p>基準6 「教育環境」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育環境、防災関連所についての取り組みとしてはR7に改訂版施行の中に指示命令系統の役割が明確になっていれば問題ないと思えました。
<p>基準7 「学生の受入れ募集」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入学予定者に対して高専の特徴や学ぶことの楽しさを伝えることはオープンキャンパスを開催していることでできていると思いますので、学校の雰囲気や実際の授業内容を体験できるプログラムを用意することで、学生が安心して入学できる環境を整えられるかもしれません。 ・入学予定者同士でディスカッションの場を持ち、互いに学びあえる場を提供しチームワークを育み関係を強化できると良い。 ・入学予定者に対しては、個別カウンセリングの時間を設けて、個別の学力を把握して学習指導・支援をしつつ、抱える不安や疑問を直接聞いてあげることが大切かと思えます。また、定期的なフォローアップを実施することで、進捗を確認し、適切なアドバイスがおこなえるかと思えます。 ・基礎学力に不安のある学生には、オンラインやオフラインで利用できる学習リソースを提供することも重要かと思えます。数学などの基礎科目の予習・復習ができる教材や、多様な学習スタイルに対応した動画コンテンツを用意し、学生が自分のペースで学べる環境を整えてあげるとよいかと思えます。 ・上記はすでに実行されていることばかりかもしれませんが、医療従事者を目指す学生が減ってきている現在、少しでも医療従事者に興味をもってくれた学生をその道に導いていけるように努力していったほしいと思えます。
<p>基準8 「教育の内部質保証システム」</p>	<p>内部監査が十分に機能していなかったとの反省を基に、監査担当者の変更（教職員の兼務から事務職員へ移管）が行われたことにより、責任が明確化され改善対応も進んだものとの印象を受けました。</p> <p>全項目の自己評価が『4』と、成果に繋がった内部監査の仕組みと思われるので、</p>

	今後もこの運用を継続し、高い水準で質が維持されることを望みます。
基準9 「財務」	監査（内部、外部）が適正にされている。 予算は予期せぬ出費は当たり前の発生をしますが、危機管理上の優先順位をして修繕をこれからも実施してほしい。補助金対象になるよう体制づくりを維持して、これからも獲得できる補助金は申請してほしい。
基準10 「社会貢献・地域貢献」	・委員会でもお話しいたしましたが、少子化で働き手が少ない現代に必要なことは、医療や福祉分野を志すターゲットを変えることだと思っています。 産休や育休、離婚などの人生の変化があった方に対してのセカンドキャリア形成が学校を挙げてできるといいかと思います。

以上、評価委員より示された提言等については、所管部署においてこれを踏まえ改善策を検討するものとする。